

使用上の注意改訂のお知らせ

アミノグリコシド系抗生物質製剤

ゲンタマイシン硫酸塩注射液 10 mg「日医工」

ゲンタマイシン硫酸塩注射液 40 mg「日医工」

ゲンタマイシン硫酸塩注射液 60 mg「日医工」

ゲンタマイシン硫酸塩注射液

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社
富山市総曲輪 1 丁目 6 番 21

この度、上記製品につきまして「使用上の注意」の一部を改訂（下線部分）いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数が必要ですので、今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容> (_____ : 自主改訂)

| 改 訂 後 | | | 現 行 | | |
|---|--|--------------------------------------|---|--|--------------------------------------|
| 3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) | | | 3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) | | |
| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 | 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
| (現行どおり) | | | (略) | | |
| 麻酔剤 筋弛緩剤 ツボクラリン塩化物硫酸塩水和物、 パンクロニウム臭化物、 ベクロニウム臭化物、 トルペリゾン硫酸塩、 <u>ボツリヌス毒素等</u> | 呼吸抑制があらわれるおそれがある。 呼吸抑制があらわれた場合には、必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | 両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。 | 麻酔剤 筋弛緩剤 ツボクラリン、 パンクロニウム臭化物、 ベクロニウム臭化物、 トルペリゾン、 A 型ボツリヌス毒素 等 | 呼吸抑制があらわれるおそれがある。 呼吸抑制があらわれた場合には、必要に応じ、コリンエステラーゼ阻害剤、カルシウム製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | 両薬剤ともに神経筋遮断作用を有しており、併用によりその作用が増強される。 |
| (現行どおり) | | | (略) | | |

* 改訂内容につきましては DSU No.220 に掲載の予定です。

<改訂理由>

- ・ B 型ボツリヌス毒素製剤（ナーブロック筋注 2500 単位）の添付文書に、アミノグリコシド系抗生物質との併用に関する記載があることから整合をとるため、「相互作用」の「併用注意」の項を記載整備いたしました。

なお、改訂後の添付文書は日医工ホームページ

http://www.nichiiko.co.jp/medicine/medicine_m_seihin.html

及び医薬品医療機器情報提供ホームページ <http://www.info.pmda.go.jp/> に掲載いたします。

